

長野県校友会 平成29年度通常総会・ 学術講演会・懇親会

平成30年6月16日（土）、長野県校友会平成29年度通常総会・学術講演会・懇親会が、東信支部担当により、上田東急 REI ホテルで開催された。

通常総会で、宮澤 眞 県校友会会長（南信・62回）と青柳裕易校友会本部副会長（69回）のご挨拶をいただいた。次に、平成29年度会務・第131回校友会本部定時総会・歯学会総会の各報告がなされた。議事として、平成29年度収支決算の承認を求める件・平成30年度事業計画（案）と予算（案）の承認を求める件・会費徴収方法が上程され、満場一致で承認された。他に、新入会員紹介（2名入会）、会員祝賀表彰～東信の渡辺秀甫会員（50回）が瑞宝双光章－学校保健功勞を受賞～、次期開催地挨拶（諏訪支部）があり閉会した。

次に学術講演会を開催した。講師は、中原 貴 生命歯学部教授、発生・再生医科学講座所属、副学長（88回）で、「「生命歯学」がもたらす新たな歯科医療」～バイオ再生医療による本学独自のアプローチ～が演題であった。歯科医療は材料学で、“細胞”を用いる新たな医療をバイオ再生医療と名づけた。抜去歯の歯髄組織を採取し、ウシの血清なしで細胞培養

する。この歯髄細胞は骨髄細胞より活発に増え、正常を保ち、がんを作らない安全な細胞である。また歯髄細胞は多くの細胞（骨芽細胞・脂肪細胞・神経細胞）に変化する。歯科疾患（う蝕・歯周病・骨欠損）ではすでに臨床実績があり、神経・筋・臓器疾患への生命歯学の実践が将来予想される。

2014年に再生医療新法が施行され、バイオ再生医療に向け、2015年に再生医療等委員会（2種）が私立大学で最初に設置され、2016年に細胞培養加工施設（CPF/CRC）が歯科大学で最初に認可された。歯の細胞バンク認定医講習会が全12回開催され、現在1,048名（校友983名・他校65名）の認定医がいる。この認定医から大学のCPFに抜去歯が送られ、培養作業が行われ（歯の細胞バンク）、細胞が再生医療を実施する医療機関に送られる流れとなっている。2017年新潟病院に、歯の細胞バンク外来が我が国初で開設された。またホームページから全国の認定医が検索できる。明日の臨床というより、将来の新たな医療を教示した貴重な講演であった。

講演終了後に記念写真撮影し、その後盛大に懇親会が開催された。宮澤会長の開宴の辞で始まり、

青柳副会長、小池平一郎県歯科医師会副会長の来賓ご挨拶の後、甘利光治佐久歯科医師会会長のご挨拶と乾杯がなされた。オカリナとサクソフォンの生演奏を聞き、大吟醸と黒澤酒造の地酒（黒澤80とマルト）を嗜みながら、再会した先生方が楽しいひと時を過ごされた。

翌日は晴天の下、浅間高原カントリークラブにて、8名の先生方が日頃のゴルフの腕前を競われた。

（小須田俊輔・78回記）



長野県校友会平成29年度通常総会・学術講演会・懇親会 平成30年6月16日 於 上田東急REIホテル